

令和2年度の重点課題

- 男子
「握力」、「長座体前屈」、「50m走」、「ボール投げ」において県平均値及び全国平均値を下回る学年が多い。
- 女子
「握力」、「長座体前屈」、「ボール投げ」において県平均値及び全国平均値を下回る学年が多い。
- 共通
県平均値及び全国平均値を上回る児童が少ない。上回る項目数55/96(57%)

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 「握力」
業間体育のサーキット・プログラムを見直し、鉄棒や登り棒、うんていを使ってぶら下がり運動を実施した。
体育科の準備体操で、ゲーパー運動やタオルを使った筋カトレーニングを実施した。
- 「長座体前屈」
業間体育のサーキット・プログラムを始める前や体育科の授業前の準備運動に、胸そらしや前屈運動等のストレッチを取り入れ、実施した。
毎日の宿題に柔軟を取り入れた。
- 「ボール投げ」
業間体育のサーキット・プログラムで行っていた袋投げの正しいやり方を児童に周知し、目的地を設定しながら適宜投げ方の指導を行った。全校レクの中で、ドッジボールを実施した。
- 共通
体力づくりコーナーを学校に設置し、休憩時間にハンドグリップや長座体前屈練習が随時行える場を設定し、使用できるようにした。

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和元年度)・全国平均値(令和元年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.00	16.93	27.21	45.79	46.57	9.53	154.79	22.71	51.00	第5学年	16.90	17.10	33.40	47.00	45.60	9.31	162.60	15.00	59.10

県平均値かつ全国平均値未満

令和3年度新体力テストの結果(県平均値(令和3年度)・全国平均値(令和2年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.00	16.93	27.21	45.79	46.57	9.53	154.79	22.71	51.00	第5学年	16.90	17.10	33.40	47.00	45.60	9.31	162.60	15.00	59.10

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	50.0	42.9	7.1	0.0	第5学年	80.00	20.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

・体幹を鍛えてくことを重視していくため、学期末に1週間姿勢を意識させる週を設け、教師の見取りにより評価を行う。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・全学年、準備運動の中に「飛行機バランス」を取り入れ、体幹の力、柔軟性を高めていく。
- ・体育科の授業でサーキットを行っていく。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・体幹を鍛えるために、帰りの会の時間を使ってつま先立ち(低学年20秒、高学年40秒)を行う。
- ・学校行事として、2月に「なわりんびっく」(なわとび大会)、12月に「マラソン大会」を実施し、その練習を通して持久力の向上をはかる。
- ・運動保健委員会を中心に体力つくりの方法を提案し、「長座体前屈」、「握力」を中心にした体力づくりコーナーを設ける。

重点課題

- 全学年の男女とも、「上体起こし」「長座体前屈」が県平均値かつ全国平均値より低い。
- 男子は、「握力」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「ボール投げ」が、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 運動やスポーツをすることが好きな児童は、男子が93%、女子が100%と肯定的な結果であったが、1日の運動実施時間が30分未満と回答する児童の割合は、男子で21%、女子で40%と高かったため、体を動かす機会を積極的に設け、運動する習慣をつけていく必要がある。

令和4年度の重点目標値

- 1日の活動時間が30分未満の児童を10%以下にする。
- 「長座体前屈」を県平均値以上にする。
- 「握力」を県平均値かつ全国平均値以上にする。